新潟県 教育月報 12月号

第850号
令和２年12月１日発行
編集人、発行人
新潟県教育委員会

＜今月号の記事＞


| | | 対象校種 |
|---|---|---|
| １：教育ニュースライン …… | Ｐ１ | 全種 |
| ２：令和３年度高等学校等募集学級計画について …… | Ｐ２～５ | 中高 |
| ３：子どものための芸術鑑賞教室について …… | Ｐ６ | 全種 |
| ４：地域の「なりわいの匠」を活用しませんか？ …… | Ｐ７ | 全種 |
| ５：インフォメーション …… | Ｐ８ | 全種 |


## 教育ニュースライン

県教育に関する最新ニュースをお知らせします。

### 令和２年度「読書おたよりコンクール」・「新潟県中高生ＰＯＰコンテスト」の受賞者が決定しました

県教育委員会では、子どもたちが読書に取り組むきっかけをつくり、読書活動の習慣化を図るため、平成27年度から小学生以下を対象とした「読書おたよりコンクール」を、平成30年度から中高生を対象とした「新潟県中高生ＰＯＰコンテスト」を実施しています。

今年度については、読書おたよりコンクールに463作品、中高生ＰＯＰコンテストに2,197作品の応募があり、最終審査を経て受賞者が決定しました。

たくさんのご応募ありがとうございました。

【読書おたよりコンクール 知事賞】

【新潟県中高生ＰＯＰコンテスト 知事賞】

【表彰式の様子】

11月22日(日)に「にいがた早寝早起き朝ごはん県民フォーラム2020」内で、表彰式が行われました。

# 令和３年度高等学校等募集学級計画について

高等学校教育課

## 令和３年度の募集学級について

### １　令和３年度県立高等学校等募集学級計画策定の考え方

令和３年度県立高等学校等募集学級計画は、本年７月に策定した「令和３年度～令和５年度県立高校等再編整備計画」を基に、中学校卒業者数の変動や令和２年度の志願状況、入学状況、新潟県の課題などを精査し、策定しました。

また、計画策定にあたっての基本的な考え方は以下のとおりです。

「県立高校の将来構想」に基づき、魅力と活力ある学校づくりを推進する

(1)「県立高校の将来構想」の「３つの基本方針」を踏まえた魅力ある学校づくりを目指し、本県独自の新たな「５つのタイプの高校」を順次設置し、地域と連携した特色ある教育を実践する高校づくりを推進する。

(2) 県内を６つのエリアに分け、そのエリアごとの中学校卒業者数及び他エリアとの生徒の流出入状況等を勘案しながら、募集学級数を検討する。

(3) それぞれのエリアの状況を斟酌しながら、全県的視野に立って、学校規模の適正化を図る。

［県立高校の将来構想の３つの基本方針］

◇　様々な分野で活躍できるグローバル人材を育成する教育の推進

◇　県外の生徒も学びたくなる魅力的な学校づくりの推進

◇　地域との連携を深化させた人づくりの推進

［高校の５つのタイプ］

◇　専門分野を探究する高校

◇　学科総合型の産業高校

◇　大学進学を重視した学究型の高校

◇　総合選択制の高校

◇　柔軟な学びを可能とする高校

### ２　令和３年度募集学級計画の概要

令和３年度に募集学級を変更する県立高等学校等は、表１のとおりです。

**表１　令和３年度募集学級を変更する県立高等学校等**

全日制課程

| エリア | 学　校　名 | 学級の増減 |
|---|---|---|
| ①新発田・村上 | 中条高等学校 | 普通　－１ |
| ②新潟 | 阿賀黎明高等学校 | 普通　－１ |
| | 三条東高等学校 | 普通　－１ |
| | 吉田高等学校 | 普通　－１ |
| | 加茂農林高等学校 | 農業　－１ |
| ③長岡・柏崎 | 長岡大手高等学校 | 普通　－１ |
| | 長岡農業高等学校 | 農業　－１ |
| | 長岡工業高等学校 | 工業　－１ |
| | 長岡商業高等学校 | 情報ビジネス－１（募集停止） |
| | 柏崎常盤高等学校 | 普通　－１ |
| | 柏崎工業高等学校 | 工業　－１ |
| ④魚沼 | 十日町高等学校 | 普通　－１ |
| | 松代高等学校 | 普通　－１ |
| ⑤上越 | 新井高等学校 | 総合　－１ |
| | 糸魚川高等学校 | 普通　－１ |
| ⑥佐渡 | 佐渡高等学校 | 普通　－１ |

※定時制課程の学級増減はありません。

中等教育学校

| エリア | 学　校　名 | 学級の増減 |
|---|---|---|
| ⑤上越 | 直江津中等教育学校 | 前期課程　－１ |

県立高等学校、県立中等教育学校の募集学級と募集定員の一覧表は、５ページに掲載しました。

また、再編整備の具体的な内容は、次のとおりです。

**(1) 柏崎工業高等学校**

**令和３年度、学科改編します。**

現行の４学科（機械科、電子機械科、電気科、工業化学科）から３学科（機械創造科、電気技術科、環境化学科）とし、大学や企業との連携をとおして、高い専門性を持ち、地域産業に貢献できる人材の育成を目指します。

機械創造科では、工作機械による金属加工技

術、ロボット等の制作に必要な電子回路や制御技術等について学びます。電気技術科では、電気系統に関する知識や、災害時の電源や通信確保について学びます。環境化学科では、大気等の環境測定の知識や技能、物質の環境へ与える影響等について探究します。

### (2) 高田南城高等学校（通信制課程）

**通信制課程に通学コースを設置し、「柔軟な学びを可能とする高校」とします。**

多様な学習歴や進路希望を持った生徒に対応できる学びのセーフティーネット機能を充実します。

これまでの週１日の通常スクーリングに加え、それ以外の曜日において通学コース用のプログラムを設定し、各教科のレポート作成の支援、学び直しに対応した基礎学習、大学進学を目指す発展学習、キャリア教育などの学習ができるようにします。

## 募集学級等の推移

### １　中学校卒業者数と高等学校等進学率の推移

### (1) 中学校卒業者数の推移

平成元年３月に中学校を卒業した生徒の数は39,129人でしたが、現在は半数以下にまで減少しており、令和３年３月の中学校卒業者数は、今春より805人減少する18,343人と推計しています。（表２）

**表２ 各年度の中学校卒業者数**

| 卒業年 | 卒業者数 | 増減(R2を基準) |
|---|---|---|
| 平成元年３月 | 39,129 | 19,981 |
| 令和２年３月(今春) | 19,148 | ±0 |
| 令和３年３月(来春) | 18,343 | ▲ 805 |
| 令和４年３月 | 18,885 | ▲ 263 |
| 令和５年３月 | 18,443 | ▲ 705 |
| 令和11年３月 | 17,028 | ▲ 2,120 |

※令和3年以降は推計値
※中等教育学校前期課程の修了者を含む

また、令和３年３月以降も中学校卒業者数は減少し、現在の小学１年生が高校に進学する令和11年３月には、今春の中学校卒業者数に比べ2,120人少ない17,028人となる見込みです。この減少数は、１学級あたりの募集定員の40人で計算すると53学級分に相当することになります。

### (2) 高等学校等進学率の推移

高等学校等進学率の全県の推移（表３）を見ると、平成28年度以降、５年連続で99.6%となっています。このように、本県の高等学校等進学率は全国に比べ高い状況が維持されており、中学校を卒業した生徒のほとんどが高等学校に入学していることになります。

このことは、募集学級計画が本県生徒の進路希望やそれぞれのエリアの状況を踏まえて適切に行われていることが一つの要因であると考えています。

**表３ エリア別高等学校等進学率**　(%)

| 年度／エリア | H28 | H29 | H30 | R元(H31) | R2 |
|---|---|---|---|---|---|
| ①新発田・村上 | 99.5 | 99.7 | 99.5 | 99.8 | 99.7 |
| ②新　潟 | 99.7 | 99.6 | 99.6 | 99.7 | 99.6 |
| ③長岡・柏崎 | 99.6 | 99.7 | 99.6 | 99.6 | 99.7 |
| ④魚　沼 | 99.7 | 99.8 | 99.2 | 99.6 | 99.4 |
| ⑤上　越 | 99.5 | 99.6 | 99.8 | 99.6 | 99.5 |
| ⑥佐　渡 | 99.4 | 99.4 | 99.5 | 98.5 | 98.7 |
| 全　県 | 99.6 | 99.6 | 99.6 | 99.6 | 99.6 |
| 全　国 | 98.7 | 98.8 | 98.8 | 98.8 | 未定※ |
| 全国順位 | 1 | 1 | 1 | 1 | |

※中等教育学校後期課程への進級を含む
※令和2年度の全国平均及び新潟県の全国順位は、12月下旬に判明する予定です。

## ２　普通科、専門学科等の募集学級比率

県立高等学校等の普通科、その他の専門学科（理数、国際文化、情報科学、国際教養、音楽等）、総合学科、専門学科（農業、工業、商業、水産、家庭）の募集定員比率は、表４のとおりです。

**表４ 県立全日制普通科・専門学科等の募集定員比率 （%）**

| 学科＼年度 | H元 | H10 | H20 | H29 | H30 | R元(H31) | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 普通科 | 63.5 | 62.4 | 64.5 | 61.5 | 60.0 | 60.9 | 59.9 | 59.8 |
| その他の専門学科 | － | 3.0 | 4.3 | 3.7 | 4.1 | 3.8 | 4.0 | 4.2 |
| 総合学科 | － | 3.7 | 10.1 | 10.9 | 11.6 | 11.1 | 11.3 | 11.5 |
| 専門学科 | 36.5 | 30.9 | 21.1 | 23.9 | 24.3 | 24.2 | 24.9 | 24.5 |

※その他の専門学科…理数、国際文化、情報科学、国際教養、音楽
※専門学科…農業、工業、商業、水産、家庭

令和３年度の募集学級計画では、前年度と比較して普通科、専門学科の募集学級比率が下がり、総合学科、その専門学科の比率が上がりました。

普通科の割合は、平成元年度と比較すると、3.7ポイント低下しています。また、専門学科は近年増加傾向にありましたが、令和３年度の募集学級計画で専門学科を５学級減としたため、募集定員比率が0.4ポイント下がりました。

## ３　全日制学科別入学者数と充足率の推移

公立全日制高等学校等における学科別入学者数と充足率は、表５のとおりです。

**表５ 公立全日制学科別入学者数及び充足率の推移**

| 年度 | 入学者数合計 | 普通科系入学者数 | 専門学科入学者数 | 総合学科入学者数 |
|---|---|---|---|---|
| H28 | 15,493<br>(96.9) | 10,342<br>(96.1) | 3,537<br>(98.5) | 1,614<br>(98.4) |
| H29 | 15,245<br>(95.8) | 10,135<br>(94.9) | 3,498<br>(97.4) | 1,612<br>(98.3) |
| H30 | 13,999<br>(95.4) | 9,152<br>(94.2) | 3,290<br>(98.2) | 1,557<br>(97.3) |
| R元(H31) | 13,770<br>(94.6) | 9,059<br>(93.2) | 3,255<br>(98.3) | 1,456<br>(95.8) |
| R2 | 13,286<br>(94.7) | 8,696<br>(93.7) | 3,161<br>(96.7) | 1,429<br>(96.6) |

※中等教育学校後期課程を含む
※（ ）内は充足率
※普通科系：普通科、その他の専門学科
※専門学科：農業、工業、商業、水産、家庭

充足率とは、定員に対する入学者数の比率のことで、例えば、定員100人に対し95人入学すれば充足率は95.0%となります。令和２年度入学者数合計での充足率は94.7%であり、前年度と比べ0.1ポイント増となりました。

## おわりに

Society5.0時代が到来しつつあり、社会の在り方そのものが劇的に変わる状況が生じつつあります。また、新型コロナウイルス感染症拡大により、複雑で予測困難な時代が現実のものとなっています。中央教育審議会の答申も、変化を前向きに受け止め、社会や人生、生活を、人間ならではの感性を働かせてより豊かなものにする必要性を指摘しています。

そのような中、県教育委員会では一人一人の生徒の能力を最大限に伸ばす教育環境の整備と将来の新潟を担う人づくりを進めるため、県立高校等の再編整備にあたっては「県立高校の将来構想」に基づき、教育に対する社会のニーズや県の課題にも留意しながら、魅力と活力ある学校づくりを進めてまいります。

毎年７月に公表している「県立高校等再編整備計画」は、中学１年生が高校入学時の学校・学科のおおよその姿が分かるように、向こう３か年分について示しているものでありますので、将来の進路選択を見据えた学校選びの資料として活用していただきたいと思います。

県立高校等の再編整備計画や募集学級計画の策定に関して、本県の教育の現状や教育課題を御理解いただき、今後も御協力をお願いいたします。

# 令和３年度公立高等学校、公立中等教育学校の募集学級及び募集定員

■ 全日制課程

| 学校 | 学科 | 募集学級 | 募集定員 |
|---|---|---|---|
| 村上 | 普　通 | 4 | 160 |
| 村上桜ヶ丘 | 総　合 | 4 | 160 |
| 中条 | 普　通 | 2 | 80 |
| 新発田 | 普　通 | 6 | 240 |
| | 理　数 | 1 | 40 |
| 新発田南 | 普　通 | 4 | 160 |
| | 工　業 | 4 | 160 |
| 新発田農業 | 農　業 | 4 | 160 |
| 新発田商業 | 商　業 | 3 | 120 |
| | 情報処理 | 1 | 40 |
| 阿賀野 | 普　通 | 3 | 120 |
| 豊栄 | 普　通 | 2 | 80 |
| 新潟 | 普　通 | 7 | 280 |
| | 理　数 | 2 | 80 |
| 新潟中央 | 普　通 | 5 | 200 |
| | 普通（学究コース） | 2 | 80 |
| | 食　物 | 1 | 40 |
| | 音　楽 | 1 | 40 |
| 新潟南 | 普　通 | 8 | 320 |
| | 普通（理数コース） | 1 | 40 |
| 新潟江南 | 普　通 | 7 | 280 |
| 新潟西 | 普　通 | 7 | 280 |
| 新潟東 | 普　通 | 7 | 280 |
| 新潟北 | 普　通 | 5 | 200 |
| 新潟工業 | 機　械 | 2 | 80 |
| | 電　気 | 2 | 80 |
| | 建築(建築コース) | 1 | 40 |
| | 建築（建築設備コース） | 1 | 40 |
| | 土　木 | 1 | 40 |
| | 工業化学 | 1 | 40 |
| 新潟商業 | 総合ビジネス | 4 | 160 |
| | 情報処理 | 2 | 80 |
| | 国際教養 | 2 | 80 |
| 新潟向陽 | 普　通 | 5 | 200 |
| 巻 | 普　通 | 7 | 280 |
| 巻総合 | 総　合 | 5 | 200 |
| 新津 | 普　通 | 6 | 240 |
| 新津工業 | 工業マイスター | 1 | 40 |
| | 生産工学 | 1 | 40 |
| | ロボット工学 | 1 | 40 |
| | 日本建築 | 1 | 30 |
| 新津南 | 普　通 | 4 | 160 |
| 白根 | 普　通 | 2 | 80 |
| 五泉 | 総　合 | 5 | 200 |
| 村松 | 普　通 | 2 | 80 |
| 阿賀黎明 | 普　通 | 1 | 40 |
| 三条 | 普　通 | 6 | 240 |
| 三条東 | 普　通 | 5 | 200 |
| 新潟県央工業 | 工　業 | 4 | 160 |
| 三条商業 | 総合ビジネス | 4 | 160 |
| 吉田 | 普　通 | 2 | 80 |
| 分水 | 普　通 | 2 | 80 |
| 加茂 | 普　通 | 4 | 160 |
| 加茂農林 | 農　業 | 4 | 160 |
| 長岡 | 普　通 | 6 | 240 |
| | 理　数 | 2 | 80 |
| 長岡大手 | 普　通 | 5 | 200 |
| | 家　政 | 1 | 40 |
| 長岡向陵 | 普　通 | 5 | 200 |
| 長岡農業 | 農　業 | 3 | 120 |
| 長岡工業 | 工　業 | 5 | 200 |
| 長岡商業 | 総合ビジネス | 4 | 160 |
| | 情報ビジネス | 募集停止 | 0 |
| 正徳館 | 普　通 | 1 | 40 |
| 栃尾 | 総　合 | 2 | 80 |
| 見附 | 普　通 | 3 | 120 |
| 柏崎 | 普　通 | 5 | 200 |
| 柏崎常盤 | 普　通 | 2 | 80 |
| 柏崎総合 | 総　合 | 3 | 120 |
| 柏崎工業 | 工　業 | 3 | 120 |
| 小千谷 | 普　通 | 5 | 200 |
| 小千谷西 | 総　合 | 4 | 160 |
| 小出 | 普　通 | 4 | 160 |
| 国際情報 | 国際文化 | 2 | 80 |
| | 情報科学 | 2 | 80 |
| 六日町 | 普　通 | 5 | 200 |
| 八海 | 普　通 | 2 | 80 |
| 塩沢商工 | 地域創造工学 | 2 | 80 |
| | 商　業 | 1 | 40 |
| 十日町 | 普　通 | 5 | 200 |
| (松之山) | 普　通 | 1 | 40 |
| 十日町総合 | 総　合 | 4 | 160 |
| 松代 | 普　通 | 1 | 40 |
| 高田 | 普　通 | 5 | 200 |
| | 理　数 | 1 | 40 |
| (安塚) | 普　通 | 1 | 40 |
| 高田北城 | 普　通 | 5 | 200 |
| | 生活文化 | 1 | 40 |
| 高田農業 | 農　業 | 4 | 160 |
| 上越総合技術 | 工　業 | 5 | 200 |
| 高田商業 | 総合ビジネス | 3 | 120 |
| 久比岐 | 普　通 | 1 | 40 |
| 有恒 | 普　通 | 1 | 40 |
| 新井 | 総　合 | 3 | 120 |
| 糸魚川 | 普　通 | 3 | 120 |
| 糸魚川白嶺 | 総　合 | 3 | 120 |
| 海洋 | 水　産 | 2 | 80 |
| 佐渡 | 普　通 | 4 | 160 |
| 羽茂 | 普　通 | 1 | 40 |
| 佐渡総合 | 総　合 | 3 | 120 |
| 県立計 | | 303 | 12,110 |

■ 定時制課程

| 学校 | 学科 | 募集学級 | 募集定員 |
|---|---|---|---|
| 荒川 | 普　通 | 午前部１ | 35 |
| 西新発田 | 普　通 | 午前部２ | 70 |
| 新潟翠江 | 普　通 | 午前部１ | 35 |
| 長岡明徳 | 普　通 | 午前部３ | 105 |
| | | 夜間部１ | 35 |
| 出雲崎 | 普　通 | 午前部１ | 35 |
| 堀之内 | 普　通 | 午前部２ | 70 |
| 十日町 | 普　通 | 1 | 40 |
| 高田南城 | 普　通 | 午前部２ | 70 |
| 佐渡 | 普　通 | 午前部１ | 35 |
| (相川) | | | |
| 県立計 | | 15 | 530 |

■ 通信制課程

| 学校 | 学科 | 募集定員 |
|---|---|---|
| 新潟翠江 | 普　通 | 若干人 |
| 高田南城 | 普　通 | 若干人 |

■ 中等教育学校

| 学校 | 募集学級員 | 募集定員 |
|---|---|---|
| 村上中等（前期課程） | 2 | 80 |
| 燕中等（前期課程） | 2 | 80 |
| 柏崎翔洋中等(前期課程) | 2 | 80 |
| 津南中等（前期課程） | 2 | 80 |
| 直江津中等(前期課程) | 2 | 80 |
| 佐渡中等（前期課程） | 1 | 40 |
| 県立計 | 11 | 440 |

注：学校欄の（　）は分校を示す

# 子どものための芸術鑑賞教室について

文化行政課

## はじめに

県教育委員会では、今年度、「児童生徒の芸術文化活動への支援」の一環として「子どものための芸術鑑賞教室」を実施しています。この事業は、県内小学校・中学校・特別支援学校・中等教育学校の希望をもとに開催校を決定し、プロの演奏家による優れた音楽鑑賞の機会を提供するものです。３校４公演が行われ、今後１校でビデオ公演を実施する予定です。本号では、実施内容についてお知らせします。

## 実施内容

「ひとりオーケストラ～エレクトーンで挑む芸術の域」として、神田将氏がたった１台のエレクトーンでオーケストラのような豊かな音楽を奏でました。

曲目は、ドビュッシー「『ベルガマスク組曲』第３曲月の光」、ホルスト「組曲『惑星』よりジュピター」、ヴィヴァルディ「『四季』より冬」など、誰もが一度は耳にしたことのあるクラシック曲を中心に、エレクトーン独自の技術が発揮されたダイナミックな演奏が行われました。演奏前には、演奏者より「昔の人はどんな気持ちでこの曲を聴いたのか、想像しながら聴いてみてください」と子どもたちに音楽鑑賞のアドバイスも行われました。

【演奏風景】

また、受動的な鑑賞だけではなく、子どもたちに曲に合わせて手拍子をしてもらい、どんどんそのスピードが早くなっていくという参加型の曲も演奏され、演奏者とのふれあいにより音楽活動に積極的に取り組む意欲をわきたたせる工夫もなされていました。

演奏中はリズムに乗って体を動かしている子やじっと音に聴き入っている子など、参加した児童は様々な楽しみ方をしていました。

【解説風景】

## おわりに

学校における芸術鑑賞及び体験活動の支援については、「子どものための芸術鑑賞教室」以外にも、文化庁事業として「文化芸術による子供育成総合事業」があります。そのうち、文化庁が選定した文化芸術団体が学校の体育館や文化施設でオーケストラ、演劇等の公演を行う「巡回公演事業」については、12月頃に各市町村教育委員会を通して令和３年度の開催校を募集する予定です。本物の音楽を届け、子どもたちの感性を育てるために、各種事業を是非御活用ください。

# 地域の「なりわいの匠」を活用しませんか？

農林水産部地域農政推進課

## はじめに

「郷土料理を家庭科の時間に作りたい。」
「そば打ちを子どもたちに体験させたい。」
「伝統工芸の竹細工を教えたい。」

そのような時、実際に体験指導できる農山漁村インストラクターが新潟県内で約2,000人活動しているのをご存じでしょうか。

## なりわいの匠とは

「なりわいの匠」は、新潟県内の農山漁村体験のインストラクターです。

農山漁村地域の暮らしの中で培われた「農業・林業・水産業」の技術やクラフトづくりなどの「手技」、農産物の加工や地域に伝わる料理方法など、高度な技能を有する人材を都市農村交流の指導者として知事が認定しています。

## 活用事例

三条市の小学校では、文化祭で家族も参加できる「そば打ち体験」を実施した例があります。地域で栽培されたそばを使い、そばづくりの話をすることで地域の農産物や食文化への理解が深まります。

また、新潟市の小学校では、学校で育てたチューリップを使った「チューリップの花びら染め」をして、卒業式に胸に付けるコサージュを作成した例もあります。色合いの変化などを体験することで問いが生まれ、なぜ花の色と染まる色は違うのか、なぜチューリップは新潟の特産品となったのかなど深い学びにつながります。

このように「なりわいの匠」を活用した体験を通じて、地域の農産物や伝統文化などに興味・関心を持ち、郷土愛を育むことができます。

【チューリップの花びら染めの様子】

## 活用方法

現在、活躍中の「なりわいの匠」は、県ホームページに市町村ごとの一覧を掲載しています。

「なりわいの匠」を活用した体験の申込については、最寄りの地域振興局農業（農林水産）振興部や市町村までお問い合わせください。

【県ホームページ】

## おわりに

ホームページ「にいがたグリーン・ツーリズム」に「なりわいの匠」のガイドブックや活用事例を掲載しています。

子どもたちの学びをサポートする様々な技能を持った「なりわいの匠」を、学校等の体験活動の指導者、体験交流の講師などに、ぜひ御活用ください。

【ガイドブック】

# インフォメーション

●県立近代美術館（長岡市）

## 【コレクション展　第３期】

○会　期　　10月13日(火)～12月20日(日)
○休館日　　毎週月曜日
　　(祝日の場合は開館、翌日休館)
○開館時間　午前９時～午後５時
　　(観覧券の販売は午後４時30分まで)
○内　容

［展示室１］

**近代美術館の名品ー新収蔵品を中心にー**

令和元年度に新しく収蔵された日本画や版画を中心に紹介します。

［展示室２］

**生誕110年佐藤哲三 と 蒲原の画家達**

蒲原の地に生きた佐藤哲三の作品を、仲間の画家達とともに紹介します。

［展示室３］

**中村忠二　詩情と激情**

何気ない日常を描いた中村忠二の世界を紹介します。

○観覧料　　一般430円（340円）
　　高校・大学生200円（160円）
　　中学生以下無料

※（　）内は有料20名以上の団体料金です。
※障害者手帳、療育手帳をお持ちの方は観覧料が免除になります。受付で御提示ください。

二代 宮川香山 《八幡古瓦》 1920 年頃

●県立万代島美術館（新潟市）

## 企画展
## 「岡本太郎展　太陽の塔への道」

2018 年に塔内修復を終え、半世紀ぶりによみがえった太陽の塔。これを契機に、いま岡本芸術の数々に大きな注目が集まっています。本展は、再生を果たした太陽の塔を中核に据えながら、岡本太郎と岡本芸術の本質を考えようとする展覧会です。構想段階から完成まで、さらには再生事業までをも網羅して太陽の塔の半世紀を一望するとともに、太陽の塔誕生の舞台となった 1970 年大阪万博「テーマ館」を概観し、太陽の塔の全体像を浮かび上がらせます。くわえて太陽の塔の誕生にいたる道のりを振り返り、「岡本太郎はいかにして太陽の塔に到達したのか」「太陽の塔に何を込めようとしたのか」を考えていきます

○会　　期　12月19日(土)～令和３年３月７日(日)
○休 館 日　12月28日(月)～令和３年１月４日(月)
○開館時間　午前10時～午後６時
　　(観覧券の販売は午後５時30分まで)
○観 覧 料　一般1,200円(1,000円)
　　高校・大学生1,000円(800円)
　　中学生以下無料

※（　）内は有料20名以上の団体料金です。
※障害者手帳、療育手帳をお持ちの方は観覧料が免除になります。受付で御提示ください。
※本展では、前売り券の販売はありません。
**※12月６日(日)まで「ルート・ブリュック　蝶の軌跡」を開催。12 月７日(月)～18 日(金)は展示替えのため休館します。**

**【お知らせ】**
**・マスクの着用に御協力をお願いします。**
**・新型コロナウイルス感染症の状況により、開催内容に変更が生じる場合もございます。最新の情報は美術館ウェブサイト等で御確認ください。**

県立近代美術館
住所　長岡市千秋３丁目278-14
ＴＥＬ 0258-28-4111
ＵＲＬ https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/

県立万代島美術館
住所　新潟市中央区万代島5-1　朱鷺メッセ内
　　万代島ビル5階
ＴＥＬ 025-290-6655
ＵＲＬ https://banbi.pref.niigata.lg.jp/

※PDFファイルで御覧の方は、下線部(Webページアドレス)をクリックすると、直接該当Webページにジャンプしますので御活用ください。
※県ホームページからバックナンバーも御覧いただけます。
**「新潟県　教育月報」**で検索してください。

教育月報

発行所　新潟県教育庁総務課
所在地　〒950-8570
新潟市中央区新光町４番地１
電　話　025-280-5587
ＦＡＸ　025-285-3766
E-mail　ngt500010@pref.niigata.lg.jp
Web 版 URL：
https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kyoiku/
本紙に関する御意見がありましたら、お寄せください
＜無断転載を禁ず＞